

「本證寺ハスの会」の皆さんへ

# 本證寺ハスの会たより



水ぬるむ候、皆様にはますますお元気で  
過ごされていますでしょうか

本證寺のウメも 咲いていますが、  
今年は寒く、春分の日を過ぎても 春一番が  
吹くことなく 3月も終わろうとしています。



本證寺北側(公園の横)のウメ▲

## ▼本證寺内堀は・・・

### ●3月18日の内堀の様子●

#### ▼南側内堀



#### ▼北側内堀



水の色は にごろ変です。  
褐色になっています。

#### ▼西側内堀



1月の初めのカラカラの時はウソのよう

## 3月24日 内堀から引き上げた倒木の処分しました

去る2月18日に「ハスの環境整備」で 内堀から引き上げた倒木は水を吸っていたので、乾燥ために  
境内に残してあったものの 処分作業を行いました。

時折 冷たい小雨の振る中 処分作業が行われました。

▼残してあった倒木は 軽トラック 2台分



▼トラックから降ろしてみると こんなにも山盛りに



燃湿前  
おえっ日が  
てたま屑  
い倒でを  
き木続被  
まもいせ  
した見た  
た事雨着  
にて火、



# 3月24日 北側内堀～竜宮池の カキツバタの増殖対策を考える



カキツバタの根がはびこり、上に乗っても沈むことは無い。スコップを差し込んでも絡んだ根を切ることができない。



## 内堀の水質浄化に..ホテイアオイ(案内)

▼ホテイアオイ(花の写真はインターネットより)



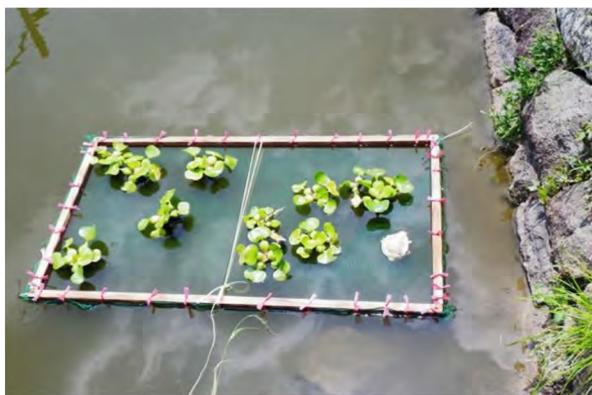
ホテイアオイは 熱帯アメリカ原産の多年草で世界の暖地に広がっている。明治中期に渡来し栽培されたが、現在は野生化し、害草とも言われている。

葉柄の中部が多胞室になって膨らむ。葉は 長さ5～10cmの広倒卵形。花期は8～10月

日当たりが良く 富栄養化した場所を好み 水質浄化や緑肥として利用されていますが、吸収した窒素やリンなどを肥料にして、どんどん増えて繁殖し、水路を防いだりする。

ホテイアオイは「**要注意外来生物**」です

▼6月25日 本證寺の内堀に”10株”のホテイアオイを投入



▼10月8日には 数え切れないほど たくさんに増えました



# そろそろ・・・カメも冬眠から覚めました

3月18日鹿乗川の支流 堀内川 (堀内公園横)で アカミガメを見つけました。  
泥の中の冬眠から覚めたばかりの



堀内川のアカミガメ

3月18日本證寺の内堀でも冬眠から目覚めたカメが見つかりました (写真が不明瞭で申し訳ありません)



堀内川のアカミガメ

水面の反射でわかりにくいのですが水中にもいます



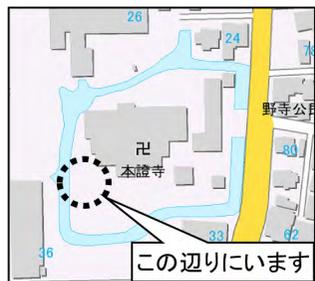
本證寺内堀で カメの姿を発見

## 紹介シリーズ ～本證寺の生き物～③

### ▼ヨコヅナサシガメ

昭和初期に貨物に紛れて九州に入ってきたと考えられている。その後 次第に生息域を拡大し1990年代になって関東地方でも 見かけられるようになった。

体の黒色部は 羽化直の外骨格が硬化する前の段階では 鮮やかな赤色をしている(今回は赤い虫はいません)毛虫など他の昆虫を捕まえ、細長い※口吻(こうぶん)を刺して体液を吸う。不用意に触ると この口吻で刺されることがあり注意が必要です。



この辺りにいます

特に害がある虫では無いようですが、たくさん集まっているのは気持ちがいものではありません。

※意味:口吻(こうぶん)  
くちばしの意



ヨコヅナサシガメの越冬中は重なりあって、集まって、どこまでが1匹だか？



1匹では1.5cmほどのこんな虫

